

## 「挿入構造」の冒頭部分に用いられる 「私は」と「私」の役割

金 青華

大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的研究  
シンポジウム「話し言葉の多様性」  
2019年8月30日

### 1. 「挿入構造」とは

断片1: 「手作り石鹸」

- 01 R: あたし今まででもね、一番自分が使って、**あたし石鹸オタクなんだけど**;  
02 T: ((( 頷  
いている)))  
03 R: すごいよかった石鹸が(0.7)°あれ°どこだろう アフリカの(1.9)°え:とね°:  
04 ウガン

**本 題:** 一番自分が使ってすごい良かった石鹸が  
**挿入部分:** あたし石鹸オタクなんだけど

### 2. 話し言葉における「挿入構造」に関する先行研究

分析対象	著者	研究結果
独話 (講演)	高梨・丸山(2007); 丸山(2014)	機能: 「背景型」、「直前・直後の発話内容への注釈」
	船橋(2011)	・挿入部分の機能 ・挿入の開始部分・再開部分における言語的特徴
会話	林(2005)	「文」内におけるインターアクション
	西阪(2005, 2006)	文の中の行為連鎖: 話し手による連鎖の開始 聞き手による連鎖の開始

★本研究の位置づけ: 「文」は、聞き手に合わせてデザインされ、話し手と聞き手の相互行為によって産出されるという観点から分析

### 3. 分析する現象

・話し手が物語りをする際に、一人称代名詞によって「挿入構造」を開始する連鎖

・「私は」と「私」に着目し、「私は」と「私」が相互行為上どのように使い分けられているのかを明らかにする

### 4. 日本語の一人称代名詞に関する先行研究

- ◆ Ono&Thompson(2003): 一人称代名詞の機能
  - (1) 文の他の構造要素に動機づけられているもの  
(1SG motivated by referential considerations) : 51%
  - (2) 感情的な機能: 6%
  - (3) フレーム設定: 43%

・日本語の一人称代名詞と英語の一人称代名詞の差異に注目  
・日本語における一人称代名詞のバリエーション—「私は」と「私」—の使い分けに関しては分析していない

### 4. 日本語の一人称代名詞に関する先行研究

- ◆ 苅宿(2014)

出現位置	機能
【私は】と【私】 が両方出現	【私は】 対比を表す 【私】 事実の描写において発話態度を表す 個人の意思を述べる場合に発話態度を表す
【私】のみ出現	【私】 話題転換、話し始め、「フィラー」的な機能

一人称代名詞を産出する過程で、会話参加者がどのような行為を行い、一人称代名詞が、どのような課題に対処する手続きとして用いられているかを分析していない。

5. 研究課題

「私は」と「私」により導入された「挿入構造」

・それぞれ相互行為上どのような課題に対処しているのかを明らかにする。

6. 分析データ

・2019年1月に公開された『日本語日常会話コーパス』(CEJC)のモニターデータ

・宇佐美まゆみ監修(2018)『BTSJ日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声)2018年版』

7. 「私は」により導入された「挿入」

断片2: ネット検索

- ・YとNは元同僚である。
- ・Y: 乳がん手術を受けているので、食事に悩んでいる。
- ・N: 野菜中心の食生活をしている。

この断片の直前では…

- ・Yは食事制限に関して、知人(医療関係者)の意見を求めたことを語っている。
- ・その続きとして、01行目で「で、あたしも」と、これから語る自分の行為は、専門家の意見を参考した行為であることをプロジェクトしている。

01 Y: であたしもう、ほら( )暇だからネットで超さー

02 N: うんうん

03→ Y: >とにかく<<あたしはさ、食べれるもの増やしたいから: [ ]

04 N: うん(¥)うん(¥)

05 Y: なんか乳ガン

06 N: うん

07 (0.5)

08 Y: 食材>とかなんか[(h)入れてさ(h)<

09 N: [>うんうんうん<

10 Y: ((両手で、検索するポーズをしながら、Nを見ている))

11 N: うんはい=

12 Y: =やる[じゃない]

13 N: [うんうん

14 Y: そうすると一番最初駄目だったもので:ショックだったのが大豆だったわけ:

ネットでの情報収集を説明しようとするけど、中断

自分の行為の正当性

検索行為を具体的に説明

ネットでの情報収集を説明する前に、自分の行為の正当性を挿入

◆ どうして「挿入」を開始したのか

03 Y: >とにかく<<あたしはさ、食べれるもの増やしたいから:

04 N: うん(¥)うん(¥)

05 Y: なんか乳ガン

06 N: うん

07 (0.5)

08 Y: 食材>とかなんか[(h)入れてさ(h)<

09 N: [>うんうんうん<

「間合い」、「笑い」:  
キーワード検索による  
情報収集の「不適切さ」に対する話し手の  
気づき

自分の「不適切な行為」を理解してもらうため、あらかじめ、このような行為をする切実な理由、すなわち、自分の行為の正当性をアピールしている

◆ 「挿入」が行われる行為

挿入: 03→ Y: >とにかく<<あたしはさ、食べれるもの増やしたいから:

「病気にかった人」

「健康な人」

健康な人

・自分を「病気にかった人」という上位カテゴリーに属するサブカテゴリー「乳がんにかかった人」にカテゴリー化する

・それにより、「健康な人」というカテゴリーと区別し、「食べれるもの増やしたい」という気持ちは、「病気にかった人」というカテゴリーに属する人たちが行っている行為であることを、聞き手に理解可能にさせる。

「乳がんにかかった人」 Y

「糖尿病にかかった人」 X

その他

8. 「私」により導入された「挿入」

断片3: 海外での生活

B: 学部4年生、中国語専攻

O: 台湾で日本語教師、台湾に行く前に、中国語の発音だけ習っている

・この断片の前のやり取りでは、

FPP B: 最初、言葉が通じなくて困ったことがあったかについての質問

SPP O: 困ったと応答

この断片: Oの肯定的に回答から始まる

## ◆Oはどうして「挿入」を開始したのか



- 01 O: <最初は>¥困りました[ね: ¥ hhh  
 02 B: [¥へ: ¥  
 03 O:( )ね、英語がもっと通じると思っ[て、  
 04 B: [はい  
 05 O:わたし、そんなに英語ができないけど。  
 06 O:まあ、でもね、日常会話ぐらいはと思っ[たら、割りと通じなくて
- 自画自賛にも聞こえる羽目に落ちている
- 自分に対する評価

13

## ◆「挿入」が行われる行為

•05 O:わたし、そんなに英語ができないけど

- ・自分に対する評価:  
あるカテゴリーに属するメンバーとして、自分を評価するわけではなく、自分だけにフォーカスしている
- ・自分に関する評価を挿入することにより、「羽目」から抜け出す

14

## 9. 結論

- ◆聞き手の理解に対する潜在的また予測されるトラブルに志向した対処として、「私は」と「私」による「挿入」が用いられる
- ◆「私は」により導入された「挿入」:  
自分があるカテゴリーに属させ、他のカテゴリーと区別することにより、他のメンバーと異なる、あるいは同じ振る舞いをしていることを理解可能にする
- ◆「私」により導入された「挿入」:  
自分があるカテゴリーに分類せず、自分ひとりにフォーカスしている

15

ご清聴ありがとうございました。

16